



H a f a A d a i

令和3年1月5日
グアム日本人学校
学校たより
第6号

「ご安心ください」

校長 工藤雅敏

グアムに赴任する直前、私は、帰宅途中に財布を紛失してしまいました。中には多少の現金と一緒に、郵便局と銀行のキャッシュカード、それにクレジットカードが入っていました。

財布の紛失に気がついた時は、すでに夜中の12時過ぎです。「途中で寄ったお店では、たしかに財布があった。とすれば、その後乗ったタクシーの中だ。」「たしかタクシー会社の名前は…？」なかなか思い出せません。「もし、誰かに拾われて、悪用されたら…？」そう思うと、いても立ってもいられません。「とにかく、すぐに、カードを無効にしなくては。たしか、24時間で受け付けているはずだ。」と思い直し、電話番号帳を取り出しそれぞれのカード紛失時の緊急受付番号を調べました。

最初の会社に電話をしました。(それぞれの会社の名誉のため、あえて、カード会社の名前は載せません)

「夜分、すいません。カードを紛失してしまったのですが…。」「ああ、そうですか。それでは、次のような手続きをしてください。」と、くどくど、こまごまと説明をされました。そして、最後には、「紛失したカードが出てきても使えませんよ。」と、冷たく念を押されてしまいました。ただでさえ、ショックを受けている時なので、なおさら、感じの悪さだけが残りました。

次の会社に電話しました。対応は、ほとんど同じでした。たしかに、夜中の電話です。相手だって、楽しいはずはありません。どうしても、事務的になってしまうのでしょうか。でも、私にとっては大問題なのです。「ああ、もう、電話するのは嫌だな。でも、自分が悪いのだから…。」そう思い直し、嫌々ながら、最後の会社に電話しました。

「夜分、すいません。カードを紛失してしまったのですが…。」すると、思わぬ返事が返ってきました。「ご安心ください、お客様。すぐに手続きをいたします。」

何と言ったらいいのか。「地獄に仏」とは、まさにこのことを言うのではないのでしょうか。短いですが、カードを紛失して気が動転している私の気持ちを汲んでくれた、素晴らしい「ひと言」でした。この「ひと言」のおかげで、私は救われ、ホッとすることができました。改めて「ひと言」の大切さが身にしみたのでした。

※ 追伸： 後日、財布が発見され、カードによる被害もありませんでした。なんと、現金も、無事、戻ってきました。 感謝！！

※ 新しい年を迎えました。今年もどうぞよろしくお願いたします。